

令和元年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	廿日市市立宮内小学校	校長	由田 広富	生徒指導主事	久保 恵子
-----	------------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『小中連携を生かした清掃活動』

取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「表現力」	3	「主体性」	1	「自らの自信」	2

取組のねらい

- 中学生から6年生が、6年生から1～5年生が、正しい掃除の仕方や工夫を教わることで、全校児童に上手に掃除ができるようにさせる。
- 6年生に、最高学年としての自覚をもたせるとともに自己有用感を感じさせる。
- 下級生に中学生や6年生に対する尊敬と憧れの思いをもたせる。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『自己有用感を育てながら』
----------	--------------------------

- 小中合同清掃
- ① 中学校区の野坂中学校、地御前小学校と宮内小学校で同時に取り組む。トイレを中心に各場所に中学2年、6年生の担当を決め、グループで顔合わせを行う。
 - ② 中学2年生は、6年生に指導しながら一緒に掃除をし、その姿を見せる。
 - ③ 活動後、6年生は指導してもらった中学2年生にお礼の手紙を書く。

- 6年リーダー清掃
- ① 1週間、6年生が1～5年の各掃除場所に行き、指導しながら一緒に掃除する。



- ② 1～5年生より6年生へお礼の手紙を渡す。



- ・中学校と掃除の仕方が違うところについては、事前にその掃除のやり方を知らせ、指導をお願いする。(中学生に対し、「さすが」という気持ちをもたせる。)
- ・中学校に入って使用する「掃除のマイスターカード」を中学生より一人一人もらい、カードについての説明を聞くことで、中学校での掃除を意識させる。
- ・手紙は個人名で、中学生全員に渡せるようにする。

- ・6年生にリーダーとしての自覚をもたせ、具体的に指導できるように、事前に学級指導する。(心構え、掃除時間前に準備し待機する、集まって号令をかけてから始める、どのあたりを隅々まで掃除すると効果的か考えさせる等)

- ・6年生全員一人一人に個人名で手紙を渡せるようにする。
- ・6年リーダー清掃の写真を掲示する。



取組の成果と課題

- 職員アンケートの「児童は黙って掃除をしているか」について、2学期末は、41%であったが、1月末は75%であった。実際に、掃除時間に話し声が聞こえなくなっている。
- 中学生への手紙の中に、具体的に教えてもらったこと、中学生の姿を見て学んだこと、自分たちも見習いたいと実感したことが書かれてあり、掃除が上手になるとともに中学生への尊敬の気持ちを感じた様子がうかがえた。
- 手紙の中で、中学生にやさしく教えてもらったことで中学校入学に当たっての不安が減り、入学して中学3年と1年の関係の中でもいろいろと教えてほしいというように先輩に憧れる様子が見られた。
- 6年生がリーダーとなって掃除をする時、やさしくていねいに教え、自らもいつも以上に気を付けて、上手に掃除をする様子が見られた。また、下級生も静かに素直に見習う様子が見られた。
- 野坂拭きが定着した。
- ていねいにすみずみまで掃除をするということは、どういうところに気を付ければよいかということがわかり、掃除の仕方が上手になった。
- 普段の掃除に戻った時、引き続き黙って隅々まで掃除できる児童と、指導が活かされずおしゃべりしてしまう児童がいる。引き続き指導を入れていく必要がある。